

問1 雨がたくさん降るなどして、川の水の量が増えたとき、川の流れの速さはどのようになりますか。

問2 流れる水が、運んできた土や石を積もらせるはたらきのことを何とといいますか。

問3 流れる水が土地をけずるはたらきは、どのような場所で最も大きくなりますか。

問4 平地を流れる川の中ほどの部分で、土地の傾きや水の流れが上流よりもゆるやかなところを何とといいますか。

問5 川が曲がって流れているところで、水の流れが遅いために、砂や小石がたまりやすくなっているのはどこですか。

問6 流れる水が、土や石を別の場所へ運ぶはたらきのことを何とといいますか。

問7 川から海に出るところで、水の流れがとてもゆるやかになり、流れてきた砂や粘土が大量に積もってできる、三角形の低く平らな地形を何とといいますか。

問8 川の近くに作られる「ていぼう」は、どのような目的で作られますか。

問9 土地の傾きが急な川の上流で、川底を削る水の力が強くはたらくことによって、長い年月をかけてできる深い谷のことを何とといいますか。

問10 山の中を流れる川の上の部分で、土地の傾きが急で水の流れが速いところを何とといいますか。

問11 川の上流（山の中）から、平地、海の近くへと流されるにつれて、川原の石の形や大きさはどのように変化しますか。

問12 流れる水が石や砂を積もらせるはたらきは、どのような場所で大きくなりますか。

問13 川の近くにあり、大雨などで川の水があふれるのを防ぐために、土や石を盛り上げて作られた工夫を何とといいますか。

問14 しゃ面がおわる、川の流れがゆるやかな場所で、流れてきた土が積もっていくはたらきを何とといいますか。

問15 遊水地は、どのようなときにどのような役割をする場所ですか。

問16 川の水の量が増えたとき、しん食・運ぱん・たい積といった「流れる水のはたらき」はどのようになりますか。

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 速くなる	川の水の量が増えると、川の流 ^る れは速くなります。そのため、雨が降 ^ふ った後の川は流 ^る れが強くなります。
問2	答え たい積	流れる水が土や石を積 ^も らせるはたらきを「たい積」といいます。
問3	答え 水の流 ^る れが速いところ	流れる水が土地をけ ^ず るはたらきは、水の流 ^る れが速いところほど大きくなります。
問4	答え 中流	平地を流 ^る れる川の中ほどの部分 ^{かたむ} を「中流」といいます。土地の傾 ^か きや水の流 ^る れは上流よりもゆるやかです。
問5	答え 曲 ^ま がって流 ^る れる川の内側	川が曲 ^ま がって流 ^る れているところの内側は、水の流 ^る れが遅 ^{おそ} くなるため、運 ^は ばれてきた砂 ^{すな} や小石がたまりやすい特 ^{とく} 徴 ^{ちゆう} があります。
問6	答え 運 ^は ばん	流れる水が土や石を運 ^は ぶはたらきを「運 ^は ばん」といいます。
問7	答え 三角州	川から海に出るところでは流 ^る れがゆるやかになり、運 ^は ばれてきた砂 ^{すな} や粘土 ^{ねんど} が積 ^も って三角形の平 ^{ひら} な地形 ^{ちけい} である三角州 ^{さんかくしゆう} が作 ^{つく} られます。
問8	答え 川の水があふれるのを防 ^ご ぐため	ていぼうは、大雨などで川の水が増えたときに、水があふれてまわりの土地に流 ^れ れ出すのを防 ^ご ぐために作 ^{つく} られます。
問9	答え V字谷	土地の傾 ^{かたむ} きが急 ^{けず} な川の上流で、川底 ^{かたむ} を削 ^{けず} る水の力が強 ^か くはたらくことのできる深 ^{ふか} い谷 ^や をV字谷 ^{びじやう} 谷 ^や といいます。
問10	答え 上流	山の中を流 ^る れる川の上の部分 ^{かたむ} を上流 ^{じゆうりゆう} といいます。土地の傾 ^{かたむ} きが急 ^{けず} で、水の流 ^る れが速 ^{とく} い特 ^{とく} 徴 ^{ちゆう} があります。
問11	答え 丸 ^{まる} みを帯 ^お びて、小さ ^ち くなっていく。	川原 ^{かわら} の石 ^{いし} は、山の中 ^{かたむ} から平地 ^{へい} 、海 ^{うみ} の近 ^{ちか} くへと流 ^れ される間に、角 ^{かく} が取 ^と れて丸 ^{まる} くなり、大き ^お きさも小さ ^ち く変化 ^{へんか} します。
問12	答え 水の流 ^る れが遅 ^{おそ} いところ	流れる水は、水の流 ^る れが遅 ^{おそ} いところほど、石 ^{いし} や砂 ^{すな} を積 ^も らせるはたらきが大き ^お くなります。
問13	答え ていぼう	川の水があふれるのを防 ^ご ぐために、土 ^{つち} や石 ^{いし} を盛 ^も り上げて作 ^{つく} ったものをていぼう ^{ていぼう} といいます。
問14	答え 土 ^{つち} が積 ^も るはたらき	川の流 ^る れがゆるやかになると、流 ^れ てきた土 ^{つち} が底 ^{そこ} に積 ^も っていきます。これを土 ^{つち} が積 ^も るはたらき ^{はたらき} （たい積 ^{たいせき} 作用 ^{さゆう} ）といいます。
問15	答え 川の水が増えたとき、人が住 ^す む場所に水があふれないよう、一 ^い 時的 ^じ に水をたくわえる。	遊 ^{あそ} 水 ^{づい} 地 ^ち は、川の水が増えたときに、人が住 ^す む場所 ^{ばしょ} へ水があふれないように一 ^い 時的 ^じ に水をたくわえるために作 ^{つく} られます。
問16	答え 大き ^お くなる	川の水の量が増えると、地面 ^{けず} を削 ^{けず} るしん食 ^{しんじき} 、石 ^{いし} や砂 ^{すな} を運 ^は ぶ運 ^は ばん、それらを積 ^も らせるたい積 ^{たいせき} のすべ ^{すべ} てのはたらき ^{はたらき} が大き ^お くなります。

問1 流れる水が、土地の底や壁^{かべ}をけずりとるはたらきのことを何といいますか。

問2 平地の川原にある石が、丸みのある形になっているのはなぜですか。

問3 川の水の量が増えたとき、しん食・運ぱん・たい積といった「流れる水のはたらき」はどのようになりますか。

問4 平地で見られる川原の石の形には、どのような特^{とくちょう}徴がありますか。

問5 さぼうダムには、どのようなはたらきがありますか。

問6 台風や大雨がふって川の水の量が急に多くなったとき、川の水の流れる速さはどうなりますか。

問7 ていぼうは、どのような目的で川の岸につくられますか。

問8 川の上流にあった石が、下流に流されるにつれて、形や大きさはどのように変化しますか。

問9 川が曲がって流れているところで、水のはたらきによって土がけずられていくのはどの部分ですか。

問10 川が曲がって流れているところで、水の流れ^{おそ}が遅いために、砂や小石^{すな}がたまりやすくなっているのはどこですか。

問11 海の近くの川では、川の流れの速さや、すなや小石の様子はどのようになっていますか。

問12 流れる水が、運んできた土や石を積もらせるはたらきのことを何といいますか。

問13 大雨によって川の水の量が多くなったとき、川の水が土地^{けず}を削ったり土や石を運んだりするはたらきはどうなりますか。

問14 川岸をコンクリートなどでかためる「護岸」を行う、一番の目的は何ですか。

問15 遊水地^{やくわり}は、どのようなときにどのような役割をする場所ですか。

問16 川の下流にある石が、丸くて小さくなっているのはなぜですか。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 流れる水のはたらき（けずる）	流れる水が土地の底や壁を削り取る作用のことを「けずるはたらき」といいます。
問2	答え 山の中から流される間に、角が取れたから。	石は山の中から長い距離を流される間に、角が削り取られて丸くなっていきます。
問3	答え 大きくなる	川の水の量が増えると、地面を削るしん食、石や砂を運ぶ運ばん、それらを積もらせるたい積のすべてのはたらきが大きくなります。
問4	答え 角が取れて、丸みがある。	平地で見られる川原の石は、山の中から流される間に角が取れて、丸みのある石になります。
問5	答え 川底が削られたり、石や砂が一度に流れたりするのを防ぐはたらき	さぼうダムは、川底が削られるのを防ぎ、大雨などで石や砂が一度に下流へ流れるのを防ぐために作られます。
問6	答え 速くなる	台風や大雨などで川の水の量が急に多くなると、水の流れる速さは速くなります。
問7	答え 川の水の量が増えたときに、川の岸がけずられないようにするためにつくられた壁です。	ていぼうは、川の水の量が増えたときに川の岸がけずられないようにするためにつくられた壁です。
問8	答え 小さく丸くなっていく	川の石は、上流から下流へ流されるにつれて、だんだんと小さく丸い形に変化していきます。
問9	答え 曲がっているところの外側	川が曲がって流れているところでは、外側の土が水にけずられていきます。反対に、内側には土が積もっていきます。
問10	答え 曲がって流れる川の内側	川が曲がって流れているところの内側は、水の流れが遅くなるため、運ばれてきた砂や小石がたまりやすい特徴があります。
問11	答え 流れがおそくなり、すなや小石が積もる	海の近くでは川の流れがおそくなるため、上流から運ばれてきたすなや小石が底に積もるようになります。
問12	答え たい積	流れる水が土や石を積もらせるはたらきを「たい積」といいます。
問13	答え はたらきが大きくなる	大雨で川の水の量が多くなると、土地を削ったり土や石を運んだりするはたらきが大きくなり、災害につながる場合があります。
問14	答え 川岸が削られるのを防ぐため。	護岸は、流れる水のはたらきによって川岸が削られるのを防ぐために行われます。
問15	答え 川の水が増えたとき、人が住む場所に水があふれないよう、一時的に水をたくわえる。	遊水地は、川の水が増えたときに、人が住む場所へ水があふれないように一時的に水をたくわえるために作られます。
問16	答え 流れる水に運ばれるうちに、石がけずられたから	上流にあった石が、流れる水によって運ばれるうちにけずられたため、丸くて小さくなります。

問1 土地の傾きが急な川の上流で、川底を削る水の力が強くはたらくことによって、長い年月をかけてできる深い谷のことを何といいますか。

問2 川の上流の河原や川底で見られる石には、どのような特徴がありますか。

問3 川が曲がって流れているところで、水の流れがおそくなっているのはどの部分ですか。

問4 川が曲がって流れているところで、水の流れが遅いために、砂や小石がたまりやすくなっているのはどこですか。

問5 川が曲がっている場所のうち、水の流れが速く、川底や川岸がけずられやすいのはどこですか。

問6 曲がって流れる川の外側では、水の流れや岸の様子はどのようになっていますか。

問7 しゃ面がおわる、川の流れがゆるやかな場所で、流れてきた土が積もっていくはたらきを何といいますか。

問8 大雨などで川の流れる水のはたらきがとても大きくなったとき、川のまわりではどのようなことがおこりますか。

問9 流れる水の量を減らしたとき、水の流れる速さと、けずられて運ばれる土の量はどちらになりますか。

問10 川の水の量が増えたときに、川の岸がけずられないようにコンクリートなどで人工的につくられた壁のことを何といいますか。

問11 川の下流で、運ばれてきた小石や砂が積もって広い川原がつくられるのはなぜですか。

問12 砂防ダムが、川の上流から流れてくる石や砂をためることで、どのような効果がありますか。

問13 大雨が降って川の水の量が多くなり、流れが速くなったとき、川の水が土地を削ったり土や石を運んだりするはたらきはどのようになりますか。

問14 流れる水が、地面をけずるはたらきのことを何といいますか。

問15 流れる水が「運ぶはたらき」によって、下流へと移動させるものは何ですか。

問16 川の上流（山の中）から、平地、海の近くへと流されるにつれて、川原の石の形や大きさはどのように変化しますか。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え V字谷	土地の傾きが急な川の上流で、川底を削る水の力が強くはたらくことのできる深い谷をV字谷といいます。
問2	答え 大きく角ばった石が多い	上流は土地の傾きが急で流れが速いため、大きく角ばった石が多く見られます。
問3	答え 曲がっている内側	曲がって流れているところでは、内側の流れがおそく、外側の流れが速くなります。
問4	答え 曲がって流れる川の内側	川が曲がって流れているところの内側は、水の流れが遅くなるため、運ばれてきた砂や小石がたまりやすい特徴があります。
問5	答え 川の曲がっているところの外側	川が曲がっているところの外側は、水の流れが速いため、川底や川岸がけずられやすくなっています。
問6	答え 水の流れが最も速く、岸がけずられてがけのようになりやすい。	曲がって流れる川の外側は、水の流れが最も速い場所です。そのため、水が岸を強くおして、岸をけずるはたらきが強く起こります。
問7	答え 土が積もるはたらき	川の流れがゆるやかになると、流れてきた土が底に積もっていきます。これを土が積もるはたらき（たい積作用）といいます。
問8	答え 川岸がけずられたり、土地のようすが大きく変化したりする。	流れる水のはたらきが大きくなると、川岸を強くけずったり、まわりの土地のようすが大きく変えたりします。
問9	答え 水の流れる速さが遅くなり、けずられて運ばれる土の量が少なくなる。	流れる水の量を減らすと、水をふやしたときとは反対に、流れる速さが遅くなって土をけずったり運んだりする力が弱まります。
問10	答え ていぼう（堤防）	川の水の量が増えたときに、川の岸がけずられないように人工的につくられた壁をていぼうといいます。
問11	答え 土地の傾きがとてもゆるやかで、水の流れがおそいから。	下流は土地の傾きがとてもゆるやかで水の流れがおそいため、運ばれてきた小石や砂が積もりやすくなります。
問12	答え 川の水の流れの勢いを弱くする	砂防ダムには、石や砂をためることで川の水の流れの勢いを弱くするはたらきがあります。
問13	答え 土地を削ったり土や石を運んだりするはたらきが大きくなる	川の水の量が多くなり流れが速くなると、水を流す力が強まるため、土地を削るはたらきや土や石を運ぶはたらきが大きくなります。
問14	答え しん食	流れる水が地面をけずるはたらきを「しん食」といいます。
問15	答え 石や砂	流れる水には、石や砂を運ぶはたらきがあります。
問16	答え 丸みを帯びて、小さくなっていく。	川原の石は、山の中から平地、海の近くへと流される間に、角が取れて丸くなり、大きさも小さく変化します。

問1 川が曲がって流れているところで、水のはたらきによって土がけずられていくのはどの部分ですか。

問2 流れる水が、土や石を別の場所へ運ぶはたらきのことを何といいますか。

問3 川の水の量が増えたときに、川の岸がけずられないようにコンクリートなどで人工的につくられた壁のことを何といいますか。

問4 川が曲がっている場所のうち、水の流れが速く、川底や川岸がけずられやすいのはどこですか。

問5 流れる水が、運んできた土や石を積もらせるはたらきのことを何といいますか。

問6 大雨によって川の水の量が多くなったとき、川の水が土地を削ったり土や石を運んだりするはたらきはどうなりますか。

問7 川の水の量が増えたとき、しん食・運ばん・たい積といった「流れる水のはたらき」はどのようになりますか。

問8 雨がたくさん降るなどして、川の水の量が増えたとき、川の流れの速さはどのようになりますか。

問9 平地を流れる川の中ほどの部分で、土地の傾きや水の流れが上流よりもゆるやかなところを何といいますか。

問10 川の下流で見られる石には、どのような特徴がありますか。

問11 石が入った針金のかごを川の岸に並べて、川の岸が削られるのを防ぐための工夫を何といいますか。

問12 流れる水が石や砂を積もらせるはたらきは、どのような場所で大きくなりますか。

問13 川を流れる水が増えて流れが速くなったとき、土や石を運ぶ「運ばん」のはたらきはどうなりますか。

問14 川岸をコンクリートなどでかためる「護岸」を行う、一番の目的は何ですか。

問15 流れが速く、土地を強くけずり、まわりに角ばった大きな石がたくさん見られるのは、どのような場所にある川の特徴ですか。

問16 流れる水のはたらきである「たい積」によって、地面に積もるものは何ですか。

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 曲がっているところの外側	川が曲がって流れているところでは、外側の土が水にけずられていきます。反対に、内側には土が積もっていきます。
問2	答え 運ばん	流れる水が土や石を運ぶはたらきを「運ばん」といいます。
問3	答え ていぼう (堤防)	川の水の量が増えたときに、川の岸がけずられないように人工的につくられた壁 <small>かべ</small> をていぼうといっています。
問4	答え 川の曲がっているところの外側	川が曲がっているところの外側は、水の流れが速いため、川底や川岸がけずられやすくなっています。
問5	答え たい積	流れる水が土や石を積もらせるはたらきを「たい積」といいます。
問6	答え はたらきが大きくなる	大雨で川の水の量が多くなると、土地を削 <small>けず</small> ったり土や石を運んだりするはたらきが大きくなり、災害につながる場合があります。
問7	答え 大きくなる	川の水の量が増えると、地面を削 <small>けず</small> るしん食、石や砂を運ぶ運ばん、それらを積もらせるたい積のすべてのはたらきが大きくなります。
問8	答え 速くなる	川の水の量が増えると、川の流れは速くなります。そのため、雨が降 <small>ふ</small> った後の川は流れが強くなります。
問9	答え 中流	平地を流れる川の中ほどの部分を「中流」といいます。土地の傾きや水の流れは上流よりもゆるやかです。
問10	答え 丸くて小さな石が多い	川の下流で見られる石は、丸くて小さな石が多いのが特徴 <small>とくちょう</small> です。
問11	答え じゃかご	石を入れた針金 <small>はりかね</small> のかごを川の岸 <small>なら</small> に並べたものを「じゃかご」と呼び、川 <small>よ</small> の岸が削 <small>けず</small> られるのを防ぐために使われます。
問12	答え 水の流れが遅いところ	流れる水は、水の流れが遅いところほど、石や砂を積もらせるはたらきが大きくなります。
問13	答え 強くなる	流れる水の量が増えて流れが速くなると、土や石を運ぶ力（運ばんするはたらき）は強くなります。
問14	答え 川岸が削られるのを防ぐため。	護岸は、流れる水のはたらきによって川岸が削 <small>けず</small> られるのを防ぐために行われます。
問15	答え 山の中の川	山の中の川は、流れが速く、土地をけずるはたらきが強いため、角ばった大きな石が見られます。
問16	答え 流されてきた土や石	たい積は、流れる水によって流されてきた土や石を積もらせるはたらきのことです。

問1 流れる水が、運んできた土や石を積もらせるはたらきのことを何といいますか。

問2 川の下流にある石が、上流にある石に比べて小さくて丸い形をしているのはなぜですか。

問3 土地の傾きが急な川の上流で、川底を削る水の力が強くはたらくことによって、長い年月をかけてできる深い谷のことを何といいますか。

問4 川の様子を調べたところ、「角ばっていて大きな石」がたくさん見つかりました。これは川のどのあたりで見られる石ですか。

問5 川が曲がって流れているところで、水の流れが遅いために、砂や小石がたまりやすくなっているのはどこですか。

問6 流れる水が、土地の底や壁をけずりとるはたらきのことを何といいますか。

問7 流れる水が、地面をけずるはたらきのことを何といいますか。

問8 平地で見られる川原の石の形には、どのような特徴がありますか。

問9 海に注ぐ前の川の下部分で、土地の傾きがとてもゆるやかで水の流れがおそく、小石や砂が積もって広い川原がえられる場所を何といいますか。

問10 流れる水による「たい積」のはたらきは、どのような場所で大きくなりますか。

問11 流れが速く、土地を強くけずり、まわりに角ばった大きな石がたくさん見られるのは、どのような場所にある川の特徴ですか。

問12 流れる水の量を減らしたとき、水の流れる速さと、けずられて運ばれる土の量はどちらになりますか。

問13 台風や大雨がふって川の水の量が急に多くなったとき、川の水の流れる速さはどちらになりますか。

問14 川の下流で見られる石には、どのような特徴がありますか。

問15 遊水地は、どのようなときにどのような役割をする場所ですか。

問16 川の曲がっているところの外側で、川の底が深くなっているのはなぜですか。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え たい積	流れる水が土や石を積もらせるはたらきを「たい積」といいます。
問2	答え 流される途中でお互いにぶつかり合って角が取れるから。	石が流されるとき、お互いにぶつかり合うことで角が削られて丸くなっていきます。
問3	答え V字谷	土地の傾きが急な川の上流で、川底を削る水の力が強くはたらくことのできる深い谷をV字谷といいます。
問4	答え 上流	角ばっていて大きな石が多いのは、川の上流で見られる石の特徴です。
問5	答え 曲がって流れる川の内側	川が曲がって流れているところの内側、水の流れが遅くなるため、運ばれてきた砂や小石がたまりやすい特徴があります。
問6	答え 流れる水のはたらき（けずる）	流れる水が土地の底や壁を削り取る作用のことを「けずるはたらき」といいます。
問7	答え しん食	流れる水が地面をけずるはたらきを「しん食」といいます。
問8	答え 角が取れて、丸みがある。	平地で見られる川原の石は、山の中から流される間に角が取れて、丸みのある石になります。
問9	答え 下流	海に注ぐ前の川の下部分で、流れがおそく小石や砂が積もる場所を「下流」といいます。
問10	答え 水が流れる速さがおそい場所	たい積のはたらきは、水が流れる速さがおそいところで大きくなります。
問11	答え 山の中の川	山の中の川は、流れが速く、土地をけずるはたらきが強いので、角ばった大きな石が見られます。
問12	答え 水の流れる速さが遅くなり、けずられて運ばれる土の量が少なくなる。	流れる水の量を減らすと、水をふやしたときとは反対に、流れる速さが遅くなって土をけずったり運んだりする力が弱まります。
問13	答え 速くなる	台風や大雨などで川の水の量が急になると、水の流れる速さは速くなります。
問14	答え 丸くて小さな石が多い	川の下流で見られる石は、丸くて小さな石が多いのが特徴です。
問15	答え 川の水が増えたとき、人が住む場所に水があふれないよう、一時的に水をたくわえる。	遊水地は、川の水が増えたときに、人が住む場所へ水があふれないように一時的に水をたくわえるために作られます。
問16	答え 水の流れが速く、地面をけずるはたらき（しん食）が大きいから	川の外側は水の流れが速いため、地面をけずる「しん食」のはたらきが大きくなり、川の底が深くけずられます。